

秋田武蔵会

発行 秋田武蔵会
発行責任者 佐々木 勉

初のテレビ出演

秋田武蔵会会長 赤沼 侃

5月8日の秋田魁新報に私が写真入りで掲載されました。これまで名前やコメントが載ったことは幾度かありましたが、大きなスペースで写真ま

で載せられたのは、元旦号を除くと初めてで、友人・知人たちからは「大したものだ」とからかわれたり、「新屋の宣伝になる」と喜ばれたり、少しばかり話題になりました。



1カ月ほど経った頃、ケーブルテレビから「魁の記事を拝見した。ぜひ出演してほしい」というオファーがありました。小学校5年生の時「私たちの作文教室」というNHK第2放送のラジオ番組に校長先生と出たことはありましたが、あれから65年。今度は

テレビだって！老醜を晒すことになるのではないかな？などと随分考えさせられました。新屋の宣伝になることは勿論、私の経歴に「武蔵大学」の名前も表記されるのが決定打となり、遂に出演を決意しました。

7月29日は、2回目のコロナワクチン接種の翌日、何となく体調不良気味。「マズいな」と思ったのですが、番組に穴をあける訳にもいかないし、新屋と武蔵の名誉のためにもと、男気を出して行ってきました。生放送なので「やり直しはきかない」ことに気づき、初出演の緊張と合わせて「体あんな悪くなる」ほどでした。予期せぬ質問もありました。何とか切り抜け、無事終了したのですが、録画を見ると、体は傾き、モニター目線など不慣れな様子が現れていました。それよりも、自分の言葉

で適切な表現ができなかったことが、今でも心残りです。私が「新屋のアスリートたち」という連載を始めた動機は、スポーツで日本一になった新屋衆たちを紹介することによって、住民たちが「新屋は誇りを持てる地域だ」と自信を持ち、「郷土愛」が芽生え、人口減の歯止めの一役買えるかな？と考えたからです。先人たちの努力によって人口が増え続けた新屋も、平成26年頃から人口減が始まったのですが、昨年下半年から微増に転じました。新屋の人気は高まっているようです。皆さん新屋に転居しませんか？

今年の総会は開催が危ぶまれているようですが、10月8日の役員会でコロナ感染者の全国的な激減、予防接種の進捗、これまで毎年開催してきたこと等から、開催することに決定しました。会場は万全？の予防体制のはずです。不織布のマスクをして、心を弾ませながらお越しください。心からお待ちしております。(秋田市・17E)



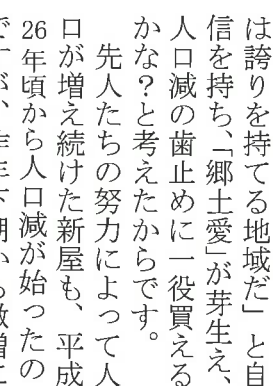
◆今から7年前の9月のことだ。「置くだけで雪かきいらず」新聞の見出しが飛び込んできた。それは雪が積もらない電気式融雪シートのこと。開発したのはA社であった。A社社長は「雪下ろしで亡くなるお年寄りをなくしたい」という願いを込めて開発に取り組んできたという。その記事には製品発表会に押し寄せると多くの年配者が写っていた。その後会うことができた社長は「腕組みして何もしないのは技術者の怠慢だ」との言葉だ。社長は福島県出身だという。ほとんど雪の積もらない土地だ。その目で見れば、豪雪に耐えているこの土地の人々はよっぽど我慢強いと写るらしい。私はこの人と歩んでみようと思った。

◆湯沢市の雪は2020年12月14日から1週間降り続いて最深積雪113cmを記録した。第1波だ。第2波は元旦から3週間続いて最深積雪は170cmとなった。雪がノンノンと降る中、シートの設置で一軒一軒回って歩いたが、高齢の方々が多くの期待を寄せてくれた。今冬は「豪雪」であった。融雪シートはどうだ！屋根融雪装置は役立ったのか！

アンケートでは8割の方が「おおかた満足」と回答をくれた。有り難いことだ。A社社長は今、その後発明した画期的新製品の量産化を急いでいる。私も、融雪シートと屋根融雪装置の開発・拡販に新たな決意をしよう。

根軒先の雪を融かす試験へとつながり、高断熱住宅の廃棄熱を使った屋根融雪装置開発へと発展していくことになった。発案者S社長と共同で特許も申請した。「置くだけで雪かきいらず」のさらなる発展だ。

平成25年度秋田武蔵会総会



筆者

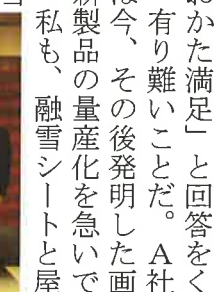
(湯沢市/20E)

7年前の決意 (株)ロイヤルパーツ 竹花 康利

◆今から7年前の9月のことだ。「置くだけで雪かきいらず」新聞の見出しが飛び込んできた。それは雪が積もらない電気式融雪シートのこと。開発したのはA社であった。A社社長は「雪下ろしで亡くなるお年寄りをなくしたい」という願いを込めて開発に取り組んできたという。その記事には製品発表会に押し寄せると多くの年配者が写っていた。その後会うことができた社長は「腕組みして何もしないのは技術者の怠慢だ」との言葉だ。社長は福島県出身だという。ほとんど雪の積もらない土地だ。その目で見れば、豪雪に耐えているこの土地の人々はよっぽど我慢強いと写るらしい。私はこの人と歩んでみようと思った。

◆湯沢市の雪は2020年12月14日から1週間降り続いて最深積雪113cmを記録した。第1波だ。第2波は元旦から3週間続いて最深積雪は170cmとなった。雪がノンノンと降る中、シートの設置で一軒一軒回って歩いたが、高齢の方々が多くの期待を寄せてくれた。今冬は「豪雪」であった。融雪シートはどうだ！屋根融雪装置は役立ったのか！

アンケートでは8割の方が「おおかた満足」と回答をくれた。有り難いことだ。A社社長は今、その後発明した画期的新製品の量産化を急いでいる。私も、融雪シートと屋根融雪装置の開発・拡販に新たな決意をしよう。



筆者

(湯沢市/20E)

幻の朝霞グラウンド

鈴木章弘

時は女子大生ブームが始まり、MTVが全盛期を迎えた昭和58年に我が母校に入学しました。父親が勤務している会社の社員寮が吉祥寺にあり、そこから4年間大学に通いました。



サークルには所属しなかつたため、時間があればアルバイトと麻雀に明け暮れる日々。午前中登校し講義を受ける前に4人揃うとそのまま雀荘へ直行し、夜中まで打つたことも数多く時には徹マンも3、4年時の主戦場は雀荘北でしたが、1、2年時の主戦場だった2軒の雀荘の名前が思い出せません。商店街で向かい合っていて、1軒は緑色の看板で平屋建ての店。もう1軒はビルの2階で酒焼けた声のおばちゃんが経営していた店。お互い仲が悪くいつも悪口を言い合っていました。店の名前がわかる方がいたら教えてください。

試合が終わった人に頼んで出場しました。なんと、そこで勝ち進み朝霞グラウンドでの決勝トーナメントへ。ところが当日グラウンドに着くと我がチームの試合が終わっているではありませんか。しかも敗戦で。どうやら我々が時間を間違えたらしく、既に試合の終わったチームが代わりに出場したらしいのです。「どうせなら勝ち進んでくれたらよかつたのに」とみんなで肩を落しました。就職活動はバブル期前の円高不況の年でしたが、なんとか大手流通企業に就職できまして30歳まで勤務した後、結婚を機に秋田市にてサラリーマン生活を送っております。3、2年ほど前、約30年ぶりに江古田に寄ってみました。日曜日だったので守衛さんに頼んで校内を散策しました。新しい校舎も増えていましたが当時と変わらない校舎や中庭学食を目の当たりにするとあの頃の思い出が甦ります。また、商店街を歩きながら当時通った飲食店、コタン・たけいし・洋包丁・愛情ラーメン・お志ど里等を捜しましたが既に跡形も無く、浦島太郎状態でした。しかし、唯一ランチハウスだけが残っていましたのでちよつと嬉しかったです。(秋田市・35M)

大学時代に学んだもの!?

今 一 久

前回の総会に参加させていただいたのはいつだったか、と思いを巡らすともう15・16年以上前で、記憶も定かではありませんでした。そんな私に会報のコメントの依頼が来るとは、秋田武蔵会も末期症状かななどと、つまらぬ妄想をしながら、内心は忘れないでいてくれた佐々木事務局長さんに感謝の言葉を申し上げたいと思います。誠にありがとうございます。



さて、記憶を辿って学生時代は何をしていたのか、それはただ一つ「新聞配達」のみ。母方の兄が新聞社に勤めていた関係で(所長も岩手出身)、軽い気持ちで新聞奨学生を申し込み、辿り着いたのが飯能駅。なんと江古田まで片道1時間ちよつとの距離。完全に騙されたが後の祭りでした。深夜の2時から6時まで配達の仕事、7時半の始発に乗

事務局だより

佐々木 勉

新型コロナウイルスの第5波に見舞われた夏が過ぎ、秋本番となってきました。

夏の盛りの間、休日は家に閉じこもってばかりもいられなかつたので、県内で話題の古民家レストランや週末限定のランチなど食欲がそそられる記事に誘われて出かけたりましたが、どこも混雑していました。人の多さに驚かされてばかりでした。今後段階的に行動制限が緩和される見込みですが、感染への警戒はまだまだ続きそうです。

昨年は11月に総会を開催したほか、にかほ市のホテルエクスセルキクスイで、今最もチケットを取るのが難しいと言われている講師・神田伯山と落語家・三遊亭好の助の二人会が開催されました。一年経った今でもその場面が印象に残っており、生で聴くことができた最高のひとときでした。武蔵の繋がりに感謝です。最後に、会報は今回で第9号となり、これまで26名の方からご寄稿いただきました。現在約80名の少数精鋭?の武蔵会です。今後もご寄稿のご協力をお願いします。(秋田市/35M)

り1時間の仮眠タイム。真面目に授業を受け、友達にノートを貸す程の優等生ぶりでした(笑)。授業を終えるところまで戻りてチラシの折り込み作業。夏・冬休みは夕刊の配達も加わり、思い返せば4年間で実家に帰ったのは成人式の1回だけ。そんな毎日でサークルにも入らず、友達との飲み会にも行けず、渡辺美里のコンサートにも1回も行けず、そんな4年間でした。でも新聞社の皆さんには大変可愛がられ、学生の身分で寿司屋・スナックによく連れて行ってもらいました。そして学んだ事は「気合と根性、そして酒には飲まれるな!」今となつては武蔵会だけが唯一のつながりかとは思っていました。先日素晴らしい出会いがありました。それは「経営品質協議会」のセミナーで、赤沼会長の講義を聞くことができたことです。ご挨拶はできませんでした。大先輩が活躍されている姿を間近で拝見でき、同じ武蔵大学出身者として、気持ちも新たにこの秋田県を盛り上げていく一助になりたいと強く思った次第です。最後に「コロナに打ち勝った証に、早く朝まで飲み明かしたい」です。(秋田市単身赴任・42M)